努力と勇気でチャンスをつかむ

競争を生き抜く代理店

㈱日本シンクタンク　代表取締役　那須顯一

◀ 57 ▶

TEL06-6282-6488（代）
http://www.j-thinktank.com/

最近、悲惨な事故が各地で多発

若者運転の車が人の列に

ツアーバスや工場の大事故も

最大で9日間の大型連休となった今年のGW。日頃の英気を養う連休にならられましたでしょうか？

中にはご家族への日々の「償い」の家族サービスから、余計に疲れた方もいらっしゃると思われますが、私は家族のおかげもあり、久々にゆっくりいろいろな情報に目を通すことができました。

今月は、その中で最近気になったことを書いてみたいと思います。

4月に、京都祗園、亀岡、千葉で、立て続けに3件も、自動車が人の波に突っ込む事故が発生しました。

これまでも、ブレーキとアクセルを間違えて店舗や人の列に突っ込んだり、車庫の壁を壊した等の事故が報道され、年々増加傾向にあるように感じていましたが、これらはほぼ運転者が高齢傾向にありました。

しかし前記の3件の事故は、何れも運転者が若い（亀岡は無免許運転）。

また調べてみますと、3月・4月、報道されているだけで、他に6件もの車両の飛び込み事故が報道されていました。

・3月13日　大阪市生野区
・4月12日　栃木県佐野市
・4月15日　茨城県坂東市
・4月16日　大阪府高石市
・4月22日　三重県津市
・4月26日　名古屋市守山区

GW2日目、29日には、関越自動車道で、ツアーバスが防音壁に衝突し車両前面を大破。乗客7人が死亡、28人が重軽傷を負う、大事故が発生。特に4月の事故が多いので、何だか気味が悪い…。

また、4月と言えば、

・22日　三井化学岩国大竹工場（山口県玖珂郡和木町）
・23日　日本清酒・寿みそ醸造工場（札幌市西区）
・24日　豊栄商会碧南工場（愛知県碧南市）

三か所の工場で、場所は違えど3日続けての工場爆発。

特に、三井化学岩国大竹工場の爆発は、広島まで爆風を轟かせる勢い。また、工場内には廃棄物として放射性物質「劣化ウラン」などが保管されていたことから、またもや放射能漏れが懸念される事態となりました。

専門家の中には、ウランが飛散して人体に影響があるレベルであっても、アルファ線、放射線が弱いため測定は困難。従ってウランに関しては「線量率は低かった」というのは「安全」とは無関係。ただし、微量でも肺に入ると問題が起きるので、マスクの着用が必須、との見解を発表される方もおられました。

想定外の事象にどう対応する

「備え」の上に「覚悟」が必要

個人の感想ですが、今年に入ってから特に、太陽活動が活発な気がし、それに伴い太陽フレア（※）による、磁気嵐の影響で、地磁気の乱れがかなり出ているのでは？と感じております。これまでも、磁気嵐・地磁気の影響が出るといわれる日の前後は、携帯電話、インターネット等の通信障害、電車等の交通機関ダイヤの乱れが散見され、火事の起こる確率も多くなるような気が…。

太陽活動の活発化とともに、日本でも太平洋側を中心として全国的に海底隆起が多数の所で発見され、それを証明するかのように、三重県伊勢市の名所『夫婦岩』が、普段は海水に浸っているにもかかわらず4月上旬に突如、根元まで露出するという異変が起こり、また29日には、海上自衛隊硫黄島航空基地隊が、小笠原諸島・硫黄島の沖合で海水が変色しているのを確認。これを受け気象庁は海底噴火が発生した可能性があるとして、火山活動に警戒するようにと発表。そして同日には、関東圏を中心に、地デジ・ワンセグ等の受信障害が多数報告されました。

《私自身も4月29日の夜（大阪）は、インターネット通信（ポケットWi-Fi）がいつも以上に何度も遮断する現象に見舞われました》

海底隆起は、昨年の東日本大震災で発生した、各プレートの歪みの影響が大きいのでしょうが、日本の海域では海水温度の上昇が多数発生しており、何だか地球が悲鳴を上げ、活動が活発化しているように感じてしまいます。これらの現象が何れの理由であろうが、多発していることは事実。

再保険業界がアジア地域の保険料率見直しを発表している中、日本の損保のこれ以上のロス悪化は、契約者にとっても代理店にとっても、朗報ではありません。

我々保険代理店も今や、自ら顧客情報等のバックアップ、セキュリティーの構築を行うことが、リスクヘッジ、コンプライアンスの両方の観点から、最重要課題であることには変わりありません。ただ、これまでに経験した災害や、これから想定される災害には備えることは可能でしょうが、想定外の事象に関してはどこまでの創造力で挑めるかが鍵になりますし、同時に想定外のことが起こり、現在のシステムが全く稼働しない場合、【どうするのか？】を想定する「覚悟」も必要な時に来ています。

「備え」の上に「覚悟」を重ね、お互い明るい未来に向けて頑張りましょう！！

※太陽フレア（Solar・flare）とは？

太陽で発生している爆発現象のこと。太陽系で最大の爆発現象で、しばしば観測されている。多数の波長域の電磁波の増加によって観測される。特に大きな太陽フレアは白色光でも観測されることがあり、白色光フレアと呼ぶ。太陽の活動が活発なときに太陽黒点の付近で発生することが多く、こうした領域を太陽活動領域と呼ぶ。

保険ショップの現場から…

面田 理恵 ―― 23

2年越しの見直し契約

一番希望していたプランに加入

『健康診断で少し数値が高い項目があるくらいで保険に入れないんですか？』

…2年前、そのお客様は現在ご加入中の保険を解約して、新しい保険に入るつもりでした。

現在ご加入中の保険の内容を分析し、理解されたうえで、希望に沿っていないことがわかり、新しい保険の提案を楽しみにしておられました。

お申し込みの当日、ご持参いただいた健康診断書には上向きの矢印が5つほどあり、『基準値を上回っている』ことを示していました。

告知書を書いていただく際、この健康診断による異常、再検査の必要性なども指摘にあり数値を書いていただいたのですが、基準値をかなり超えており、これを提出した結果希望のプランにご加入いただけない可能性をお話ししたところ、冒頭のように驚かれました。

『病院に通っているわけでもないし自分はいたって健康なのに…』と、少しテンションがさがっておられましたが、全て正確に記入し、その日は申し込みが完結しました。

数日後、案の定どのプランも引き受けの延期の回答がきてしまいました。

まず結果をお電話でお伝えしたところ、その週末にすぐご来店のご予約をとられました。

その際、いろいろなことをお話ししてくださいました。

お客様の家族構成はお子様一人と奥様とご自身のご両親と五人で二世帯住宅…ここまでは保険のプランを考えるときに必要保障額のなかでお聞きしていましたが、仕事を頑張りすぎてつい休みをとらずに毎日帰宅が遅い点や、仕事の後、ほぼ毎日外食でお酒を飲む機会も多く、アルコールを抜かない日が続くこと、ご両親も保険に入りすぎていて支払いが大変なこと、今抱えていらっしゃる気持ちをお話いただきました。健康診断で指摘されていた項目は生活改善でかなり向上するものだったのと、少し体重もオーバー気味だったので総合所見では、

『食生活をあらため、適度な運動をし、再検査を受けましょう』というアドバイスでした。

お客様は、「一旦今回の見直しはあきらめ、現在の保障をキープし、この生活改善に取り組みます！」と、明るく言っておられました。

私自身もこの日、お客様の入れなかったプランの代替案を考えご準備はしていたものの、清々しい気持ちになりました。

…つい先日　ちょうど2年経った日、ばったりと道でお客様とお会いしました。

ずっと気になっていたので名前も状況も鮮明に覚えており、お客様もそのことに感心しておられました。

「もう一回チャレンジしようかな？」そうおっしゃってすぐにご予約をとってお申し込みに来られました。道でお会いした時も気づいていたのですが、相当体質改善されたらしく、体重も5キロ以上へっておられました。気になっていた項目は昨年、今年とちょうど一番基準値を超えていたときからの推移がうかがえました。

見事に再チャレンジが成功し、年齢は2歳あがっていたので保険料は少し高くなっていましたが、一番希望のプランにご加入いただくことができました。

健康診断の指摘のおかげで、おからだの危険信号を発見でき、目標のために体質改善された姿に感動しました。

保険を通じて、2年越しのすばらしいドキュメントを体験できたと思います。

こう言えば大げさかもしれませんが、今回のお客様のおかげで私たちの仕事は健康管理にもなるんだ、と教えられた気がします。

私たちの仕事は、お客様の「健康管理」にもつながる、素晴らしい仕事